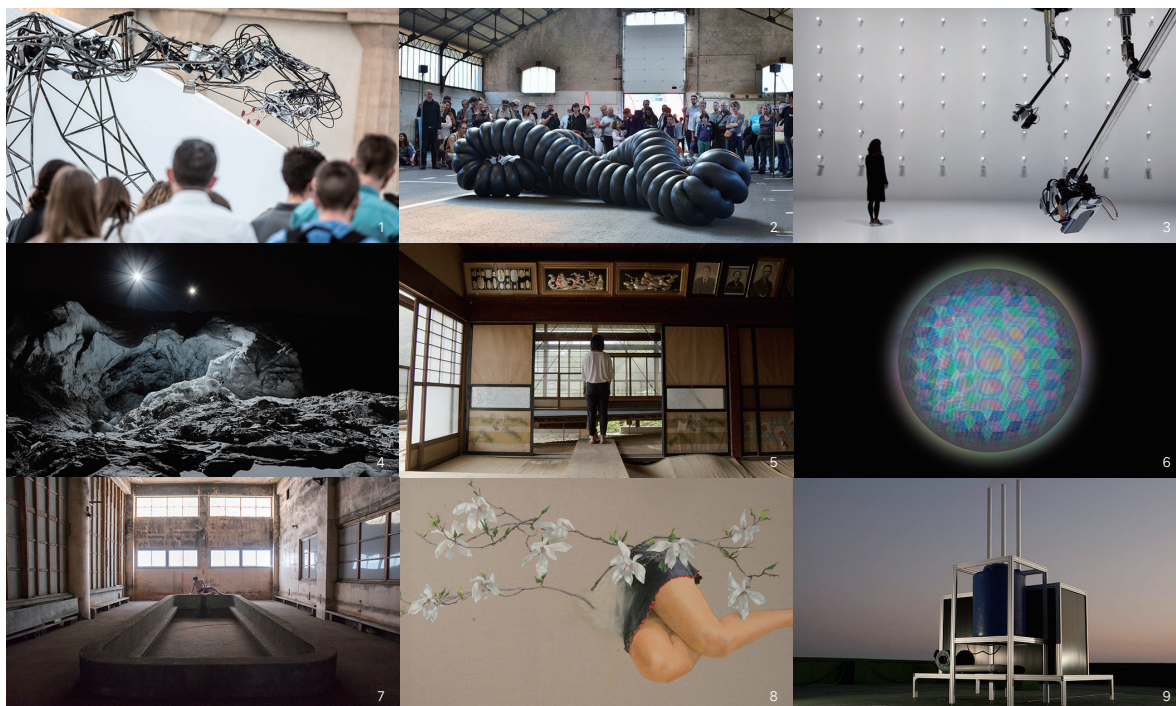


札幌国際芸術祭2020 開催概要発表

参加アーティスト(第一弾)、 コミュニケーションマーク等を発表



1. Edward Ihnatowicz 〈Senster〉, Photo by Natalia Kabanow, Courtesy of WRO 2019/WRO Art Center / 2. Cod Act 〈nTon〉 2017 ベルフォート(フランス)でのパフォーマンス(2018年) / 3. 三上晴子 〈欲望のコード〉 2010, 山口情報芸術センター[YCAM] (山口) Photo by Ryuichi Maruo(YCAM), Courtesy of Yamaguchi Center for Arts and Media [YCAM] / 4. ジュリアン・シャリエール 〈Towards No Earthly Pole〉 2019 映像からのスチル © the artist, VG Bild-Kunst, Bonn, Germany / 5. 持田 敦子 〈A Floating House〉 2019 Photo by Yuki Higuchi / 6. スザンヌ・トレイスター 〈The Holographic Universe Theory Of Art History [THUTOAH]〉 2018 映像からのスチル, Courtesy of the artist, Annely Juda Fine Art, London and P.P.O.W., New York / 7. 大庭 秀樹 旧住友赤平炭鉱坑口浴場での撮影 / 8. 原 良介 〈sprout drawing〉 2006 高橋龍太郎コレクション / 9. プシェミスワフ・ヤシャルスキ 〈Global Warming Control Unit〉 2010

札幌国際芸術祭実行委員会では、現代アート、メディアアート、コミュニケーションデザインをそれぞれ担当する3名のディレクターチームのもと、今年12月に開幕する札幌国際芸術祭2020 (略称：
サイアフ
SIAF2020) に向けて準備を進めています。

このたび、SIAF2020のテーマ「^{オブ ルーツ アンド クラウド}Of Roots and Clouds: ここで生きようとする」に基づいて選定した、現在決定している参加アーティスト19組を発表します。国内外からのアーティストがつくり出す魅力溢れる作品にどうぞご期待ください。

なお、参加アーティスト第二弾(最終)の発表は、今年9月を予定しています。

札幌国際芸術祭2020

会 期 2020年12月19日(土)–2021年2月14日(日) (58日間)

テーマ 「Of Roots and Clouds: ここで生きようとする」

シンリット ニシクル
Sinrit/Niskur (アイヌ語)

参加アーティスト（第一弾）

国内外から19組（国内11組、海外8組）のアーティストが参加します。（2020年2月7日現在）

会場	アーティスト・プロジェクト名	出身地
札幌市民交流プラザ	Re:Senster	ポーランド
	Cod.Act	スイス
モエレ沼公園	三上 晴子	日本
	ジュリアン・シャリエール	スイス
	中崎 透	日本
	持田 敦子	日本
札幌芸術の森	スザンヌ・トレイスター	イギリス
	キャロリン・リーブル&ニコラス・シュミットプフェーラー	ドイツ
北海道立近代美術館	一原 有徳	日本
	神田 日勝	日本
	後藤 拓朗	日本
	大槌 秀樹	日本
mima 北海道立三岸好太郎 美術館	青山 悟	日本
	原 良介	日本
	三岸 好太郎	日本
札幌市資料館	プシェミスワフ・ヤシャルスキ	ポーランド
	ライナー・プロハスカ	オーストリア
	村上 慧	日本
札幌大通地下ギャラリー 500m美術館	クラウス・ポビッツァー	イタリア

各会場の紹介

各会場で、テーマ「Of Roots and Clouds: ここで生きようとする」に基づいた作品やプロジェクトを展開していきます。

● 札幌市民交流プラザ | 参加アーティスト・プロジェクト: Re:Senster^{リ・センスター} / Cod.Act^{コッド・アクト}

SIAF2020の入り口となる会場。ここでは周囲の音に反応する大型作品《Senster^{センスター}》を展示する。この作品は1968年にポーランド出身の彫刻家エドワード・イナトビッチが制作。1970年にオランダで展示されたが、その後行方不明になり、40年以上の歳月を経て発見、修復されたもの。アジアでは初公開となる。また、この会場では国内外の先鋭的なパフォーマンス作品も紹介する。

● モエレ沼公園 | 参加アーティスト: 三上晴子 / ジュリアン・シャリエール / 中崎透 / 持田敦子

貯雪庫(冷房用の雪を保管する倉庫)での展示のほか、モエレ山では冬ならではの屋外プロジェクトを展開する。また、ガラスのピラミッドでは、日本やニューヨークで先駆的な作品を発表してきた三上晴子(2015年逝去)の作品を展示。本作は、作家の意思を受け継いだ専門チームにより修復、新しい技術により更新されたもので、この最新バージョンは世界初展示となる。

● 札幌芸術の森 | 参加アーティスト: スザンヌ・トレイスター / キャロリン・リーブル&ニコラス・シュミットプフェーラー

メディアアートに焦点を当て、日常的に使用する携帯電話やパソコンなどの急速な技術進歩や、アート、科学、テクノロジーについて考える手がかりとなるような作品を展示。また、工芸館では子どもも楽しめるプログラムを予定している。

● 北海道立近代美術館 | 参加アーティスト: 一原有徳 / 神田日勝 / 後藤拓朗 / 大槌秀樹

テーマ「Of Roots and Clouds: ここで生きようとする」を端的に表現する会場の一つ。道内作家等のコレクションが、現代アートの作品群と渾然としながら共鳴しあう構成となる。このようなかたちで同館所蔵のコレクションが芸術祭と融合するのは初の試み。

● mima 北海道立三岸好太郎美術館 | 参加アーティスト: 青山悟 / 原良介 / 三岸好太郎

三岸好太郎が没した「31歳」に着目し、北海道ゆかりの作家をはじめ、アーティストたちが31歳のときに制作した作品を三岸作品とともに展示する。アーティストの青山悟、原良介が発案し、自らも作家として参加する。

● 札幌市資料館 | 参加アーティスト: プシェミスワフ・ヤシャルスキ / ライナー・プロハスカ / 村上慧

テーマ「Of Roots and Clouds: ここで生きようとする」の実践に挑む作家が集い、新作を発表する。持続可能な社会をテーマの一つとして取り扱う作品や、資料館の歴史に注目した作品などを展開。また、会期中に同館前庭で生活を試みる実験的なプロジェクトも予定している。

● 札幌大通地下ギャラリー 500m美術館 | 参加アーティスト: クラウス・ポビッツァー

会場の特性を生かした特大のパノラマドローイング作品の展示を予定している。作品の中には札幌市民や歴史的な人物、ポップスター、政治家、ロボットなど、歴史と現在、真実と虚構が入り混じったポートレートが登場する。

コミュニケーションマークについて



このマークはSIAF2020のテーマである“Of Roots and Clouds”が示す根と雲を、言葉だけではなく視覚的にも感じ、知ってもらうために、札幌を拠点として活動するデザインコンビ「ワビサビ」がデザインしたものです。今回のテーマを伝えるためのメッセンジャーとしての役割を担っていることから、“ロゴマーク”ではなく、あえて“コミュニケーションマーク”と呼んでいます。

メインカラーは、日本の伝統色「空色」。この「空色」は、日本では古くからある岩群青を砕いてつくられた顔料の色で、良く晴れた昼間の空の色です。このブルーを「SIAFブルー」として本芸術祭のメインカラーとします。

アートメディエーション

SIAF2020では、芸術祭を分かりやすく魅力的に伝えていくために、芸術祭と多様な鑑賞者をよりよい形でつなぐ試みとして「アートメディエーション」を実施します。これは、作品や展覧会をきっかけとした対話やつながりを生み出そうとする取り組みです。

実践1：イベント

開幕に向けて、さらに深く芸術を「見る・学ぶ・考える」プログラムを展開していきます。

実践2：アートメディエーター

従来のボランティア活動を発展させて「アートメディエーター」として活躍する人を募集します。アートメディエーターには、鑑賞のサポートや会場での案内役のほか、地元サポーターとして活動していただきます。

実践3：会期中のプログラム

会期中に、子どもから大人まで楽しむことができるイベントやプログラムを実施していきます。

開催概要

名 称	札幌国際芸術祭2020 (略称: ^{サイアフ} SIAF2020) Sapporo International Art Festival 2020 (英語) ^{ウサ モシリ ウン アシカイ ウタラ サッポロ オッタ ウエカラバ} Usa Mosir un Askay utar Sapporo otta Uekarpa (アイヌ語)
テ ー マ	^{オブ ルーツ アンド クラウス} Of Roots and Clouds: ここで生きようとする Of Roots and Clouds (英語) ^{シンリツ ニシクル} Sinrit/Niskur (アイヌ語)
企画体制	ディレクターチーム 企画ディレクター(現代アート担当)／統括ディレクター 天野 太郎 企画ディレクター(メディアアート担当) アグニエシュカ・クビツカ＝ジェドシェツカ コミュニケーションデザインディレクター 田村 かのこ キュレトリアルアドバイザー 上遠野 敏／ヨアシャ・クルイサ キュレーター アートメディエーション担当: マグダレナ・クレイス モエレ沼公園担当: 宮井 和美 北海道立近代美術館・mima 北海道立三岸好太郎美術館担当: 中村 聖司 札幌芸術の森担当: 佐藤 康平 アイヌ文化コーディネーター マユンキキ アートディレクター&デザイナー ワビサビ アドバイザーボード ヴィオレッタ・クトゥルバシス＝クラジュースカ／アンソニー・シェルトン／吉岡 洋
会 期	2020年12月19日(土)–2021年2月14日(日) (58日間)
主な会場	札幌市民交流プラザ／モエレ沼公園／札幌芸術の森／北海道立近代美術館／ mima 北海道立三岸好太郎美術館／札幌市資料館／札幌大通地下ギャラリー 500m美術館
主 催	札幌国際芸術祭実行委員会／札幌市

お問い合わせ

札幌国際芸術祭実行委員会事務局 (担当: 石田、國安、新井田)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目札幌時計台ビル10階 (札幌市国際芸術祭担当部内)

TEL: 011-211-2314 | FAX: 011-218-5154 | E-mail: press@siaf.jp